

コショウノキ

Daphne kiusiana Miq.
ジンチョウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

現在県内での生育地の確認は2地区であり、生育地、個体数ともごく限られている。絶滅が危惧され、県域絶滅危惧Ⅱ類からⅠ類とした。

分 布

本州（関東南部、京都府以西）～九州に分布する。県内ではおおい町、小浜市で確認されている。

種の特徴

関東以南の暖地に生じる高さ1mばかりの常緑低木で、分枝はやや少なく、枝は細い。暗紫褐色で無毛。葉は互生、やわらかい革質で表面に光沢があり、長楕円形ないし長楕円状倒披針形。花期は早春1～4月。初夏に長さ約1cmの液果が熟し、かむと非常に辛い。

生育を脅かす要因

産地局限、森林伐採、自然遷移。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

ユリワサビ

Eutrema tenue (Miq.) Makino
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

前回、今回の調査で勝山市でのみ自生が確認された。

分 布

北海道～九州に分布。県内では勝山市で確認されている。

種の特徴

山間の溪流のほとりに生える多年草。根茎は細くて短い。茎は高さ20～30cm、細く、のちに倒れる。葉は卵状心形で鈍鋸歯があり無毛、ワサビよりも小さく、葉柄の下部が膨らむ。葉が枯れても葉柄の基部が膨らんで残る。花期は3～5月で、花序はまばらに花をつける。

生育を脅かす要因

森林伐採、林道工事、シカ食害

参考文献

福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		

クロミノウグイスカグラ

Lonicera caerulea L. subsp. *edulis* (Regel) Hultén var. *emphylocalyx* (Maxim.) Nakai
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限

分 布

北海道～本州（中北部）に分布。県内では大野市での記録がある。

種の特徴

山地～亜高山の湿地に生育する1m以下の落葉低木。ケヨノミの変種で、枝や花柄には細毛または長毛があり、ときに無毛である。葉は両面ともに毛があるか、またはほぼ無毛である。花は黄白色で、5～7月に開花。腋果は楕円形～卵形で粉白を帯び、青黒色に熟す。

生育を脅かす要因

生育地へのシカの分布拡大による食害

参考文献

福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	